

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月26日

福島県知事 殿



提出者

住所 福島県白河市大信下新城字池下5-3

氏名 (株)大紀アルミニウム工業所

白河工場長 山田 良次

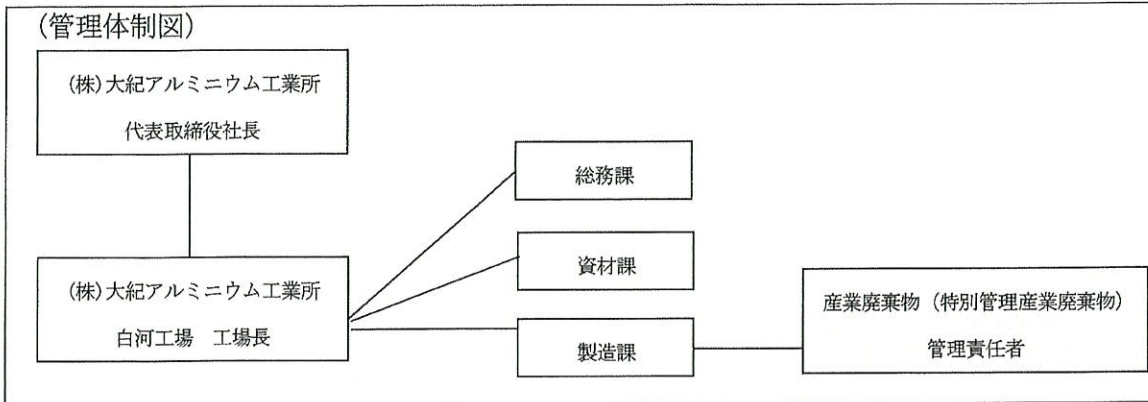
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0248-46-2565

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 大紀アルミニウム工業所
事業場の所在地	福島県白河市大信下新城字池下5-3
計画期間	令和6年4月 ~ 令和7年3月まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	アルミニウム合金地金第二次精錬・精製業
② 事業の規模	15,966,446千円 (令和5年度) (製造品出荷額)
③ 従業員数	65名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙の通り

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	排出量	1020 t	中和放流
	(これまでに実施した取組) 脱マグ効率を上げるため 350kg/h を厳守 (前年度より減産により排出量減)		
② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	排出量	969 t	t
	(今後実施する予定の取組) 将来的に硫酸バンドの原料として使用可 (中和脱水処理による)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 単一の廃棄物により分別の必要なし。 (濾過器により不純物の除去)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	全処理委託量	1020 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 年一度の処理場視察。判定		

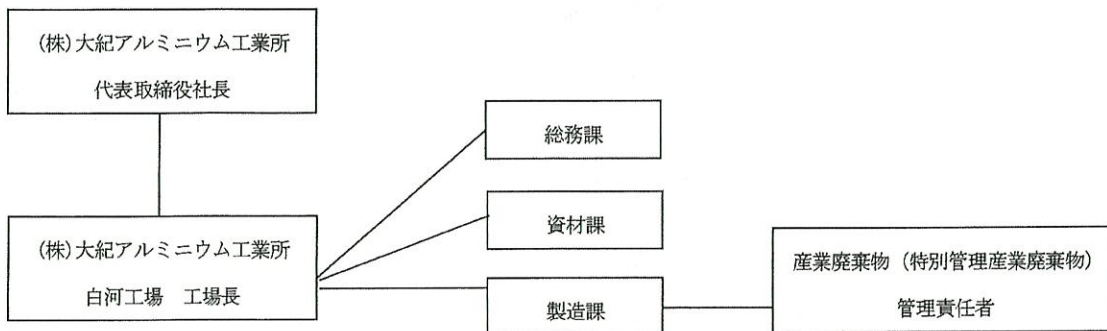
(第5面)

② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	
	全処理委託量	969 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 操業の増減により廃棄物の量が増えるため、事業所としては 全体の5%の削減目標 (稼働状況により上下のブレが生じる) 年一度の処理場の視察継続		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック (リサイクル)
	排出量	32 t	12 t
	(これまでに実施した取組) フレコンバッグによる入荷、制限のお願い。		
② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック (リサイクル)
	排出量	30 t	11 t
	(今後実施する予定の取組) 24年度中にフレコンバッグの再生利用化 (燃料チップ) へ移行完了 24年度より、プラスチックパレットの有価物化移行 (再生品を除く)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) フレコンバッグと他の廃プラスチックの分別
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		

(第4面)

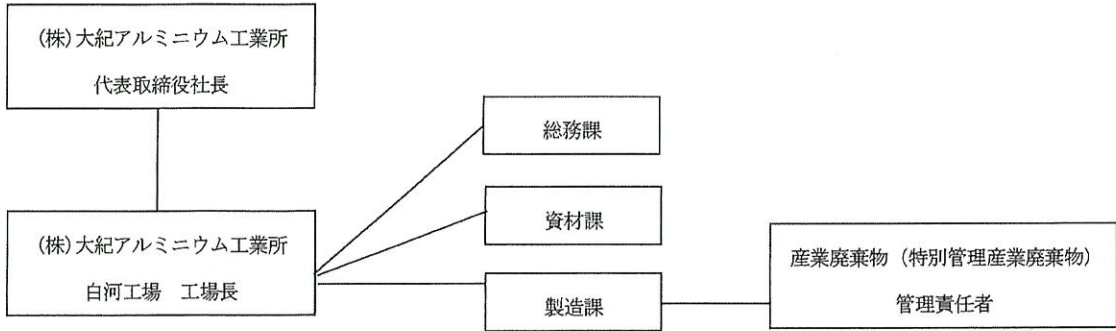
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】前年度量の削減		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック（リサイクル）
	全処理委託量	32 t	12 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	12 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用への分別強化 処理場、処分場への年一度の視察。判定		

② 計画	【目標】令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃プラスチック(リサイクル)
	全処理委託量	30 t	11 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	10 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>過去30%強の廃プラが再生利用されてるが、今年度は28%の再生利用。</p> <p>年一度の処理場、処分場視察の継続。</p>			
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	鋳滓	
	排出量	249 t	t
	(これまでに実施した取組) 炉の修理の削減 (2回/月の炉の点検・診断を行う)		
② 計画	【目標】 令和5年度の5%削減		
	産業廃棄物の種類	こうさい	
	排出量	237 t	t
	(今後実施する予定の取組) 出来るだけぎりぎりまで炉修を行わない (炉の停止が多ければ修理が多く必要になる)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 単一の排出により特に分別は行っていない。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当無し			

(第4面)

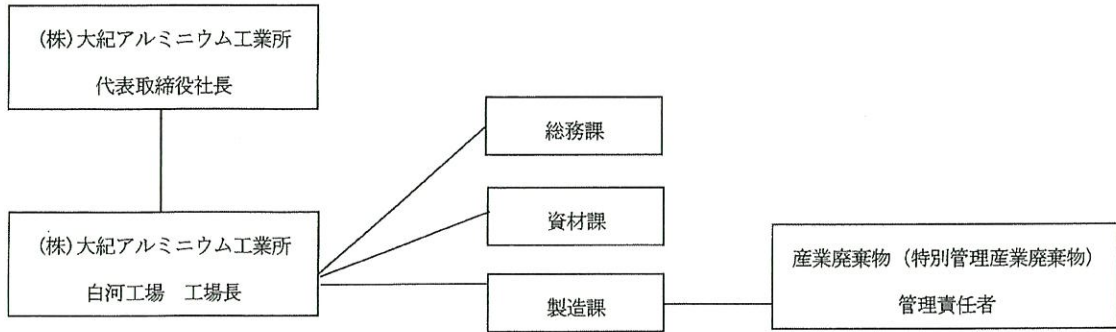
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉾津	
	全処理委託量	237 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 年に一度、委託先の処理場を視察。判定		

(第5面)

② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	鉾滓	
	全処理委託量	237 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 年一度の処理場視察の継続		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	排出量	105 t	t
	(これまでに実施した取組) パレットによる原料入荷制限依頼 (一昨年度に比べ入荷量が増えたため発生量増加)		
② 計画	【目標】 令和5年度の5%削減		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	排出量	99 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記項目の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 単一物により分別の必要なし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当無し			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	全処理委託量	105 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	105 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 100%再生利用の継続。 年一度の処理場の視察。判定		

(第5面)

② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	木屑	
	全処理委託量	99 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	99 t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
100%再生利用の継続。			
年一度の処理場の視察継続。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項																
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">(管理体制図)</div> <pre> graph TD A["(株)大紀アルミニウム工業所 代表取締役社長"] --- B["(株)大紀アルミニウム工業所 白河工場 工場長"] B --- C["総務課"] B --- D["資材課"] B --- E["製造課"] E --- F["産業廃棄物 (特別管理産業廃棄物) 管理責任者"] </pre>																
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項																
① 現状	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">【前年度 (令和5年度) 実績】</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 40%;">汚泥</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td style="text-align: center;">40 t</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">(これまでに実施した取組)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">構内の清掃等により分離槽への流れ込みの縮小。</td> </tr> </table>	【前年度 (令和5年度) 実績】			産業廃棄物の種類	汚泥		排出量	40 t	t	(これまでに実施した取組)			構内の清掃等により分離槽への流れ込みの縮小。		
【前年度 (令和5年度) 実績】																
産業廃棄物の種類	汚泥															
排出量	40 t	t														
(これまでに実施した取組)																
構内の清掃等により分離槽への流れ込みの縮小。																
② 計画	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">【目標令和5年度より5%削減】</td> </tr> <tr> <td style="width: 30%;">産業廃棄物の種類</td> <td style="width: 40%;">汚泥</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td>排出量</td> <td style="text-align: center;">38 t</td> <td style="text-align: center;">t</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">(今後実施する予定の取組)</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding: 5px;">同上継続</td> </tr> </table>	【目標令和5年度より5%削減】			産業廃棄物の種類	汚泥		排出量	38 t	t	(今後実施する予定の取組)			同上継続		
【目標令和5年度より5%削減】																
産業廃棄物の種類	汚泥															
排出量	38 t	t														
(今後実施する予定の取組)																
同上継続																
産業廃棄物の分別に関する事項																
①現状	<p style="text-align: center;">(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>該当無し</p>															
②計画	<p style="text-align: center;">(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)</p> <p>該当無し</p>															

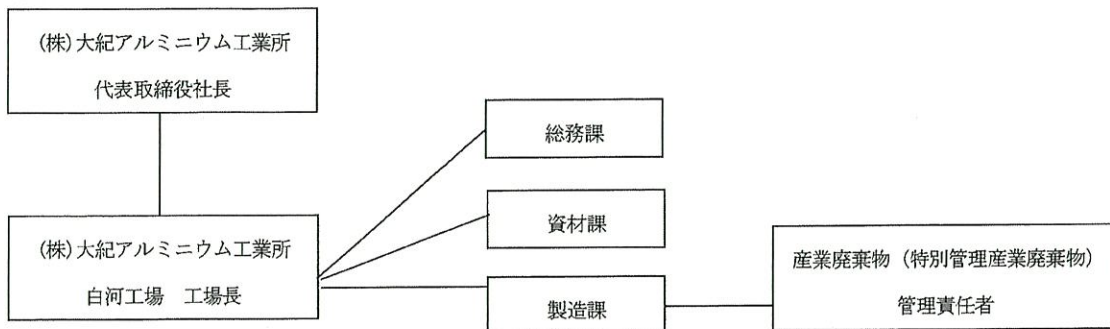
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組) 該当無し			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組) 該当無し			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	40 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	40 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 構内の清掃。 年一度の処理場の視察。判定		

② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	汚泥	
	全処理委託量	40 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	40 t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
構内清掃の継続			
年一度の処理場視察の継続			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和5年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん (黒煙系集塵灰)	
	排出量	105 t	t
	(これまでに実施した取組) 原料への不純物付着削減依頼 (油、ゴム等によりばいじんの増加) 生産量と入荷物の種類により排出量変動 (削減不可)		
② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	ばいじん (黒煙系集塵灰)	
	排出量	100 t	t
	(今後実施する予定の取組) 上記項目の継続		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 黒煙系集塵機バグフィルターによりばいじん集塵。 分別の必要なし。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（黒煙系集塵灰）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	105 t	t
	（これまでに実施した取組） 焼成施設により、ばいじんを焼成。		
② 計画	【目標】 令和5年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（黒煙系集塵灰）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	99 t	t
	（今後実施する予定の取組） 同上		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（黒煙系集塵灰）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	13 t	t
	（これまでに実施した取組） ばいじん発生量120 t 焼成に対して 焼成炉集塵灰（廃棄物特管）20 t 焼成灰（有価物）72 t 誤差は含水量		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	11 t	t
（今後実施する予定の取組）			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当無し		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度令和4年度実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん（黒煙系集塵灰）	
	全処理委託量	25 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当無し		

(第5面)

③ 計画	【目標】 令和4年度より5%削減		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	
	全処理委託量	24 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
該当無し			
※事務処理欄			

